# 「Python言語」 二歩目を踏み出そう!

脱初心者になるためのポイントを伝授します Takanori Suzuki / ヒカ☆ラボ / 2017年9月21日

# Who am l?(お前誰よ)

- 鈴木たかのり / Takanori Suzuki
- Twitter: @takanory
- Pythonボルダリング部(#kabepy)部長



#### 株式会社ビープラウド所属

• 株式会社ビープラウド



## 一般社団法人PyCon JP理事

● 一般社団法人PyCon JP



# 最初に質問

## Python知ってる人?

Python書いたことある人?

#### 他のプログラミング言語使っている人?

## 今日のゴール

(ほぼ)標準のPythonのみを使って、 いい感じにプログラムを書けるようになる ヒントを得る

## 今日話すこと

- 1. 「はじめの一歩」の振り返り
- 2. pythonの一般的なデバッグ手法(pdb)
- 3. コーディングスタイルの統一(PEP8, flake8)
- 4. 自動テスト手法(unittest)
- 5. Python公式ドキュメントを読みこなそう
- 6. 文字列メソッドを使いこなそう
- 7. 例外処理の使いどころ
- 8. 内包表記、ジェネレーター式を使いこなそう
- 9. 次のステップ

## 1. 「はじめの一歩」の振り返り

「Python言語」はじめの一歩 / First step of Python



## 1.1 Pythonの特徴

- まぁ、なんでもできる
- きれいに書きやすい
- 保守しやすい
- 20年以上開発してる
- Python 2 と 3 がある

#### 1.2 言語の特徴

- インデントでブロック構造
- 対話モード
- たくさんの標準ライブラリ
- 豊富な外部パッケージ

#### 1.3 インストール

• 公式からインストールしよう

#### 1.4 言語仕様

- データ型: int, float, str, bytes
- コレクション: list, tuple, dict, set
- 分岐: if, elif, else
- 繰り返し: for, while
- ファイル操作: open(), with open
- モジュール: import

## 1.5 Python 2と3の違い

- printが文→関数
- 文字列がUnicodeに統一
- intの割り算の結果がfloat
- 標準ライブラリの再構成

#### 1.6 よく使う標準ライブラリ

- re: 正規表現
- sys, os: システムパラメータとOS
- datetime: 日付と時刻
- math, random: 数学関数と乱数
- itertools: イテレータ生成関数
- shutil: 高レベルなファイル操作
- json: JSONエンコーダ、デコーダ

#### 1.7 よく使うサードパーティ製パッケージ

- pip  $\succeq$  venv(virtualenv)
- dateutil: 日時操作の強力な拡張
- Requests: HTTPクライアント
- BeautifulSoup4: HTML, XMLパーサ
- Pillow: 画像処理ライブラリ
- PEP8: pycodestyle, flake8

#### 1.8 どうやって学ぶか

- 書籍紹介
- Web上のテキスト
- コミュニティに参加

## 2. pythonの一般的なデバッグ手法(pdb)

#### なぜデバッガー?

- print()デバッグはめんどう
- この変数の値が見たかった
  - 止めてコード書き換えて再実行
- pdbを使おう!

## pdb

- Python標準のデバッガ
- インストール不要
- コマンドラインで操作

#### 間違ったfizzbuzz

```
for num in range(1, 100):
    if num % 3 == 0:
        print('Fizz')
    elif num % 5 == 0:
        print('Buzz')
    elif num % 15 == 0: # ここがおかしい
        print('FizzBuzz')
```

#### デバッグする

```
for num in range(1, 100):
    import pdb; pdb.set_trace() # 追加
    if num % 3 == 0:
        print('Fizz')
    elif num % 5 == 0:
        print('Buzz')
    elif num % 15 == 0:
```

#### 実行

```
$ python3 fizzbuzz.py
(env) Takanoris-MacBook-Pro:pycamp.pycon.jp takanori$ python fi
> /Users/takanori/fizzbuzz.py(3)<module>()
-> if num % 3 == 0:
(Pdb) p num
1
(Pdb) n
```

#### 主なコマンド

- p: expression: expressionを評価した結果を表示
- n: 次の行に移動
- c: 次のブレークポイントまで実行
- h: ヘルプを表示
- 1: ソースコードを表示
- q: デバッガを終了する 他のコマンドは27.3.1. デバッガコマンドを参照

#### まとめ

pdbでデバッグしよう pdb - Python デバッガ

# 3. コーディングスタイルの統一(PEP8, flake8)

#### なぜ統一する?

- Pythonとしての統一ルールがある
- サポートするツールもある
- 統一しておけば揉めない

#### PEP8(1/2)

#### PEP 8 -- Style Guide for Python Code

Yes

```
spam(ham[1], {eggs: 2})
dct['key'] = lst[index]
i = i + 1
submitted += 1
```

No

```
spam( ham[ 1 ], { eggs: 2 } )
dct ['key'] = lst [index]
i=i+1
submitted +=1
```

#### PEP8(2/2)

PEP 8 -- Style Guide for Python Code

Yes

#### pycodestyle

- PEP8対応のチェックツール
- インストールが必要

pycodestyle's documentation

```
$ pip install pycodestyle # インストール
$ pycodestyle fizzbuzz.py # pycodestyleを実行
```

## だめなfizzbuzz.py

```
for num in range(1, 100) :
    if num % 15 == 0:
        print( 'FizzBuzz' )
    elif num%3 == 0:
        print('Fizz')
    elif num % 5 == 0:
        print('Buzz')
```

#### 実行結果

```
$ pycodestyle fizzbuzz.py
fizzbuzz.py:1:25: E203 whitespace before ':'
fizzbuzz.py:3:15: E201 whitespace after '('
fizzbuzz.py:3:26: E202 whitespace before ')'
fizzbuzz.py:4:13: E228 missing whitespace around modulo operato
fizzbuzz.py:7:10: E111 indentation is not a multiple of four
```

#### flake8

- pycodestylesに加えてpyflakesのチェックが入る
  - importしてるけど使ってない
  - 宣言した変数を使ってない
  - from module import \* している
- インストールが必要

```
$ pip install flake8
$ flake8 fizzbuzz.py
```

Flake8: Your Tool For Style Guide Enforcement

#### まとめ

- flakes を使おう
- エディターでもチェックしてくれるよ

# 4. 自動テスト手法(unittest)

# なぜ自動テスト?

- 関数単位で仕様が明確になる
- リファクタリングしても安心

#### unittest

- Pythonの標準ライブラリ
- テストコードを書いて実行できる

26.4. unittest - ユニットテストフレームワーク

```
def fizzbuzz(num):
    if num % 3 == 0:
        ret = 'Fizz'
    elif num % 5 == 0:
        ret = 'Buzz'
    elif num % 15 == 0: # ここが間違い
        ret = 'FizzBuzz'
```

```
import unittest
from fizzbuzz_ng import fizzbuzz

class TestFizzbuzz(unittest.TestCase):
    def test_num(self): # 普通の数字を返す
        self.assertEqual(fizzbuzz(7), '7')
    def test_fizz(self): # 3の倍数

テストコード
```

## 実行結果

Traceback (most recent call last): File "/Users/takanori/unittest/test\_fizzbuzz.py", line 12, in test fizzbuzz self.assertEqual(fizzbuzz(30), 'FizzBuzz') AssertionError: 'Fizz' != 'FizzBuzz'

- Fizz
- FizzBuzz

Ran 4 tests in 0.001s FAILED (failures=1)

# 修正して再実行

Ran 4 tests in 0.000s OK

## 自動テスト: まとめ

- 大規模ならunittestを書こう
- 26.3. doctest 対話的な実行例をテストするもあるよ

# 5. Python公式ドキュメントを読みこなそう

#### 公式ドキュメント?

- https://docs.python.jp/3/ で公開されている
- 情報がたくさん
  - チュートリアル
  - ライブラリーリファレンス
  - HOWTO
- https://docs.python.org/ja/3/ に移行予定

# 非公式はあくまでヒントに

- Qiita
- teratail, Stack Overflow
- 個人ブログ

## print()関数

- print(\*objects, sep=' ', end='\n', file=sys.stdout, flush=False)
- objectsをsepで区切りながらテキストストリームfileに表示し、最後にendを表示します。
- sep、end、file、flush を与える場合、キーワード引数として与える必要があります。

print()関数 - 2. 組み込み関数

# print()関数は可変長引数を受け取る

```
>>> print()
>>> print(1, 2)
1 2
>>> print(1, 2, 3, 4)
1 2 3 4
```

# sep引数で区切り文字が変更できる

#### file引数で出力先を変えられる

#### ここまで触れたドキュメント

- pdb Python デバッガ
- unittest ユニットテストフレームワーク
- doctest 対話的な実行例をテストする
- PEP 8 -- Style Guide for Python Code
- pycodestyle's documentation
- Flake8: Your Tool For Style Guide Enforcement
- print()関数 2. 組み込み関数

#### まとめ

- 公式ドキュメント読もう
- 外部ライブラリもドキュメントがちゃんとしているものを使おう

# 6. 文字列メソッドを使いこなそう

#### なぜ文字列メソッド?

- Pythonの文字列はメソッドが豊富
- 正規表現使わなくてもいろいろできる

4.7. テキストシーケンス型 - str

### .format()メソッド使いこなし(1/2)

```
>>> '{}, {}'.format('a', 'b', 'c')
'a, b, c'
>>> '{2}, {1}, {0}'.format('a', 'b', 'c') # 順番入れ替え
'c, b, a'
>>> '{lat}, {lng}'.format(lat='37.24N', lng='-115.81W') # 名前'
'37.24N, -115.81W'
>>> '{:,}'.format(1234567890) # 数値にカンマ
```

6.1.3.1. 書式指定ミニ言語仕様

### .format()メソッド使いこなし(2/2)

```
>>> c = 3-5j # 虚数を定義
>>> '{0.real} {0.imag}'.format(c) # 属性にアクセス
'3.0 -5.0'
>>> from datetime import datetime
>>> now = datetime.now()
>>> '{:%Y-%m-%d %H:%M:%S}'.format(now) # 特殊な書式指定
'2017-09-20 17:14:50'
```

6.1.3.1. 書式指定ミニ言語仕様

#### .endswith()メソッド

- str.endswith(suffix[, start[, end]])
- 文字列が指定されたsuffixで終わるならTrueを、そうでなければFalseを返します。suffixは見つけたい複数の接尾語のタプルでも構いません。

```
>>> filename = 'hoge.jpg'
>>> filename.endswith('.gif')
False
>>> filename.endswith(('.jpg', '.gif', '.png'))
True
```

#### まとめ

- 文字列メソッドは多機能
- 単純な処理は文字列メソッドのみでOK

4.7. テキストシーケンス型 - str

# 7. 例外処理の使いどころ

### なぜ例外処理?

- エラーは情報の宝庫
- 例外処理は便利
- でもなんでも例外で処理するのは危険

#### Tracebackを読もう

```
Traceback (most recent call last):
    File "traceback_sample.py", line 7, in <module>
        main()
    File "traceback_sample.py", line 5, in main
        return sub()
    File "traceback_sample.py", line 2, in sub
        return int('名前')
```

- どんなエラーか
- エラーの理由
- どこで発生したか

# 例外を握りつぶしちゃう

```
try:
# なんか
# 処理
except Exception:
pass
```

#### どこで発生する例外かわかりにくい

```
try:
    # とっても
    # とっても
    # 長い
    # 処理
except ValueError:
    # 対応する例外処理
```

#### 例外の発生する個所のみを対象に

```
try:
    # とっても
except ValueError:
    # 対応する例外処理
    return

try:
    # とっても
```

### 可能なら前もってチェックする

• 例外処理

```
try:
    num = int(num_str)
except ValueError:
    # 数値の文字列じゃないときの処理

    事前にチェック
```

```
if num_str.isdigit():
    num = int(num_str)
else:
    # 数値の文字列じゃないときの処理
```

#### まとめ

- Tracebackを読もう
- 例外を握りつぶさない
- 全体を大きく囲まない
- 先にわかるものはそこでチェック
- 5. 組み込み例外 Python 3.6.1 ドキュメント

# 8. 内包表記、ジェネレーター式を使いこなそう

## なぜ内包表記?

- 簡潔に書ける場合がある
- ・わかりやすい
- 複雑なのものは危険

#### oから9の平方リスト

# oから9の平方リスト

>>> squares = [x\*\*2 for x in range(10)]

#### oから9の偶数の平方リスト

#### oから9の偶数の平方リスト

>>> squares = [x\*\*2 for x in range(10) if x % 2 == 0]

#### ジェネレーター式

- リスト内包表記の外側の[]を()にする
- リスト内包表記→全データできちゃう
- ジェネレーター式→1つずつ値をとりだす

```
>>> l = [x*2 for x in range(10)]
>>> l
[0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18]
>>> g = (x*2 for x in range(10))
>>> g
<generator object <genexpr> at 0x1020ad0f8>
>>> next(g)
```

#### 内包表記

- set内包表記
- 辞書内包表記

```
>>> {x**2 for x in range(10)}
{0, 1, 64, 4, 36, 9, 16, 49, 81, 25}
>>> {x: x**2 for x in range(10)}
{0: 0, 1: 1, 2: 4, 3: 9, 4: 16, 5: 25, 6: 36, 7: 49, 8: 64, 9:
```

#### まとめ

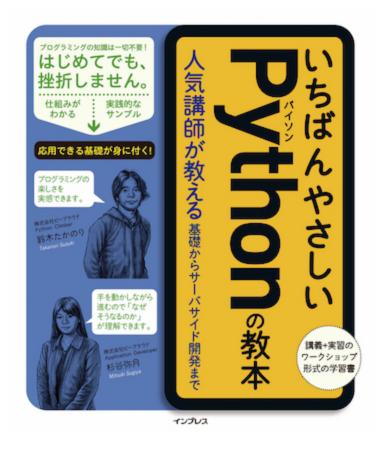
- 内包表記使おう
- ジェネレータ式使おう
- やりすぎ注意

5.1.3. リストの内包表記 - Pythonチュートリアル

# 9. 次のステップ

# 9. 次のステップ または宣伝タイム

## Python言語入門から



いちばんやさしいPythonの教本

## Pythonで何か作ってみたい



Pythonエンジニア ファーストブック

#### ライブラリを使いこなしたい



Python ライブラリ厳選レシピ

#### PyQ

オンライン学習サービス

PyQ - 本気でプログラミングを学びたい人のPythonオンライン学習サービス

#### コミュニティに参加しよう

- PyCon JP
- Python Boot Campで全国にPythonの環を広げよう! #pycamp
- カテゴリ「Python」のグループ connpass

## One more thing

### 懇親会で書籍プレゼント



## 今日のゴール

(ほぼ)標準のPythonのみを使って、 いい感じにプログラムを書けるようになる ヒントを得る →できることろからやってみよう

# ありがとうございました

# Question?

# Thank you